

大正・昭和・平成の現代へ 100年に亘り 社会で活躍する女性を育成

中部地域における女子教育の草分け的存在として、女性の社会的自立に貢献し、豊かな人間性と専門性を兼ね備えた多くの人材を世に送り出した名古屋女子大学。その歴史は、大正から昭和を経て、平成の現在へと続く。1915(大正4)年、前身である名古屋女子学校は、名古屋市中区葵町に越原和、越原春子両先生によって創立された。建学の精神には、当時としては先進的な「高い教養を身に纏った職業人としての女性の育成」を掲げた。また、学園訓を「親切」と定め、本科・裁縫科・家政科を置き、生徒26名、教員8名での出発だった。

職業を通して社会に貢献できる女性の育成を目指して誕生した同校は、1921(大正10)年に名古屋高等女学校に昇格。1935(昭和10)年には現在の瑞穂区汐路町に移転を果たす。そして、より高度な女性教育の実践を志し、1950(昭和25)年に名古屋女子短期大学が発足。1964(昭和39)年に4年制大学が設置され、服飾文化、栄養科学といった分野を学ぶ家政学部が置かれた。

1971年には大学の家政学部を児童学を併設したことから、天白区に校地を得て付属幼稚園を設立。1988年には天白校地に文学部を置き、1998年には大学院を設置。その後も時代のニーズに対応して学部・学科の改組・改革を重ね、2015年に創立100年を迎えた。その節目の年に、春子先生の曾孫である越原もゆる氏が理事長に就任し、さらに天白校地にあった文学部を汐路校地に移転。教育施設・設備も集約・統合し、全学部・全学科が共通して学ぶ環境を整えた。

100年という歴史、伝統を紡ぐ中でも、建学の精神は揺るぐことなく、脈々と受け継がれ続けている。今、国の施策として女性の活用が強く打ち出されているが、女性の社会進出が極めて稀で、参政権さえもまだなかった大正時代に、その可能性を信じ、女子教育の大切さを訴え、実践したのが、創立者の越原春子先生だ。日本初の女性衆議院議員として活躍し、近代日本の



新設された南8号館外観

創設100年を超えた今、心新たに目指すのは、「親切」の層の具現化を通して女性の可能性をより高めていくこと。これからの社会に真に貢献し得る、未来に向かって力強く歩き続ける女性を育て、次の100年を切り拓くこと。その歩みは着実に進んでいる。



越原(おっばら)学舎研修では、学長から「建学のこころ」を学ぶ。

教育の基盤は「親切」 人間愛・友愛・学問の研鑽 さらなる具現化を目指して

建学の理念とともに時代を超えて受け継がれているのが、学園訓「親切」である。ここでいう「親切」とは、思いやりのこころといった一般的な意味に留まらず、民主主義の根本であるヒューマン、人間愛や友愛、師弟愛の精神、加えて、学問への情熱やその研鑽を指している。さらに、自分を支えてくれる人への感謝の気持ちを持ち、それを社会への貢献によって還元するという意味まで含まれるという。

名古屋女子大学では、初年次からこの「親切」の精神の基盤を築くための学びを実施している。特徴的なのが、春子先生の生誕地、岐阜県加茂郡東白川村にある「越原(おっばら)学舎」での2泊3日の研修だ。のどかな風景の中に身を置きながら学園の精神や信条に触れ、創立者の人柄を知る機会であり、同時に大学での学びに適應できるように導くプログラムも展開される。

この建学の精神を学ぶ科目をはじめ、英語などを学ぶ外国語科目、スポーツを实践する健康科目、人文科学、社会科学といった全学共通科目により、「親切」の実践に必要な幅広い教養を身に付ける。どのような道に進んでも、成長は常に「親切」を实践する中から生まれるという考え方に基づく学びは、社会でも、家庭でも常に輝く女性を育てている。衣食住、教育など、各分野で活躍している卒業生の姿に、それが如実に表われている。

女性リーダー像を自ら示した人物でもある。女子教育に生涯をかけた春子先生は、女性が学問に励むことが社会的自立への道であり、ひいては文化の向上に寄与すると論じた。さらには、真の男女平等を実現するには女性自らの努力も必須であり、そのためには高い教養と職業を身に付け、経済的に自立する必要があることを説いた。時代は巡って、女性の社会進出が進み、活躍に層の期待がかけられる現代。その言葉は色あせることなく、むしろ真理として輝きと深みを増していると言えらるだろう。

1915年設立の名古屋女子学校を源流に、1964年開学。大学院から幼稚園までを擁する学園の中核で、良き家庭人であるとともに社会的に自立する女性の育成を目指し続けている。展開するのは、衣食住、環境・経済などの生活に関わる専門知識を学ぶ家政学部、教育分野を中心に専門職人を育成する文学部、2年間で家庭や社会に必要な力を養う短期大学部。学園創立100年に全学統合の「地の交流拠点」を形成し、新しいスタートを切った。

名古屋女子大学の未来へのミッション…… 女性の可能性をさらに高め 新たな時代、次の100年を切り拓く

管理栄養士国家試験は 合格率100%を2年連続達成 教員・保育職も高い合格率

女性の自立につながるものとして力を入れる資格・採用試験では、全国トップレベルの合格率・採用率を誇る。筆頭が、家政学部食物栄養学科の管理栄養士国家試験だ。養成校指定を受けた1968年以来、数多くの管理栄養士を輩出しており、2015年度は155名(定員160名)が受験し、全員が合格。合格率100%を前年に続き2年連続で達成した。2014年77名/定員80名。合格率100%を達成した全国の女子大学の中で、合格率はトップである。

そして、文学部児童教育学科では児童教育学専攻の小学校教員採用試験の合格採用率が60.3%。幼児保育学専攻の公務員保育職の合格採用率が70.6%。また、就職率も高く、2015年実績で大学が97.4%、短期大学部が96.3%。希望業種の企業などに進み、多様な職種で活躍している。

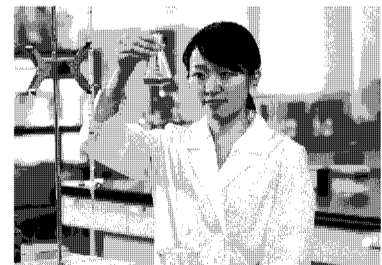
こうした実績を支えているのは、各学部学科の教育プログラムや支援体制である。家政学部では少人数のクラス担任制を導入している。管理栄養士を養成する食物栄養学科では万全の国家試験対策はもちろん、臨地実習では管理栄養士の専門スタッフがサポート

する。生活環境学科では衣食住の豊かな知識を身に付けた専門家を、家政経済学科では生活者・消費者の視点を持って活躍する人材を育成している。

文学部児童教育学科の児童教育学専攻では初等教育・幼児教育の2コースを設定し、子どもを取り巻く社会的背景を広く学び、時代に対応できる教育者・保育者を育成。また、幼児保育学専攻では、広い視野と豊かな感性を持つ保育専門家を育てる。両専攻とも教員採用試験・公務員採用試験対策の親身なサポートを行っている。合格へ導いている。

短期大学の生活学科は3コース制で、専門能力を高めながら、その枠を超えた学びや資格取得も可能とし、将来の可能性を広げている。保育学専攻では、保育の原点「命の大切さ」を理解し、それを守るための「やさしさ」を体得しながら子育てを支える力を養い、保育士資格と幼稚園教諭2種免許が同時取得できるカリキュラムを編成している。

本質を大切に、実質的なバックアップが融合することで、確かな結果が生み出されている。



管理栄養士養成校として45年以上の伝統を誇る。

※1 受験者58名中35名合格 ※2 受験者85名中60名合格
※3 就職希望者549名中335名 ※4 就職希望者268名中258名

Free Topics

ラーニング・commonsなど、多彩なスペースが広がる「知の交流拠点」

学園創立100年に実施された全学部の教育施設・設備の統合に際し、汐路校地に新校舎・南8号館、図書館棟、新体育館を新設。

図書館棟の1、2階は、学園の「知の拠点」であるとともに「学習の場」でもある、総合施設としての「新図書館」。多様な学習スタイルに対応できるよう、学習目的に応じたゾーニングを行い、それぞれの設備を整えられている。

1階に図書館スペースと併設されたのは、ラーニング・commons。アクティブ・ラーニングやグループ・ラーニングの場として、ディスカッション学習やプレゼンテーション、セミナー、イベントなど、多目的に利用できるスペースだ。

さらに図書館内の閲覧スペースに、従来の閲覧室のほか、利用ニーズの高い個人学習用のキャレ(閲覧席)を103席設置。落ち着いた集中できる自学・自習環境だ。また、目的別の学習スペースも充実。グループでの学習や演習、ディスカッションに使えるグループ閲覧室2室に加え、教員採用試験と管理栄養士国家試験の資料を揃えた学習室を設けている。2階は60席を擁するコンピュータ自習室で、冊子、電子資料など、多様な情報源

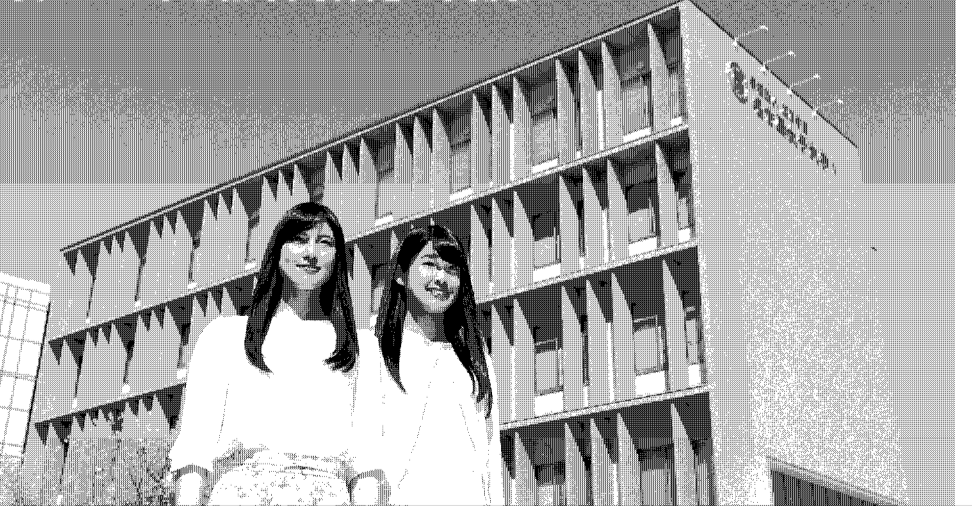
をワンストップで利用できる環境だ。南8号館には、講義室、造形教室、コンピュータ教室などの実習室、スタジオ機能も備えた多目的室、学生食堂などを整備。省エネに配慮したエコキャンパスであり、トイレにパウダールームを設置するなど、学生生活の快適性も向上。新体育館は1階アリーナと2階ギャラリーを合わせて1863席を設置でき、幅広い用途に活用できる。

この新たな「知の交流拠点」は、施設・設備の面から質の高い学びをこれまで以上に強くバックアップしている。



図書館棟1階のラーニング・commons。アクティブ・ラーニングやグループ・ラーニングの場として多目的に利用できる。

次の100年を拓く「親切」の実践。



家政学部 食物栄養学科
管理栄養士養成校として指定を受けた1968(昭和43)年以来、名古屋女子大学では専門性の高い学びを行い、毎年、多くの管理栄養士を輩出しています。2015年3月の卒業生は155名が受験し全員が合格。全国トップレベルの成績をおさめています。

■2015年(第29回) 管理栄養士国家試験合格率

受験者155名 合格者数155名 **100%**

第28回・第29回と2年連続合格率100%達成

合格率100%を達成した女子大のなかで
全国一位の合格者数を社会に輩出!

文学部 児童教育学科 児童教育学専攻
教育者に必要な専門能力を養うとともに、教員採用試験対策も親身に、高い合格率をキープしています。

■小学校教員採用試験合格採用率 [2016年3月卒業生実績]

受験者数 58名 合格者数 35名 **60.3%**

取得できる免許/資格
初等教育コース 小学校教諭一種免許状
幼児教育コース 幼稚園教諭一種免許状
幼児保育コース 幼稚園教諭一種免許状・保育士資格

児童教育学科 幼児保育学専攻
公務員採用試験対策などのサポートも充実させ、公立の保育所・幼稚園で活躍する保育者を毎年数多く輩出しています。

■公務員保育職合格採用率 [2016年3月卒業生実績]

受験者数 85名 合格者数 60名 **70.6%**

取得できる免許/資格
保育士資格
幼稚園教諭一種免許状

オープンキャンパス2016
事前申込不要
開催時間/10:00~15:00 (時間内入場自由)

サマーオープンキャンパス
7月23日(土)・7月24日(日)
8月20日(土)・8月21日(日)

オータムオープンキャンパス
10月8日(土)

【内容】
■学科説明会 ■学科講座 ■特別講座
■学生イベント ■学科個別相談
■入試対策セミナー ■面接対策セミナー など

※詳細は、ホームページなどでご確認ください。

校地内全館禁煙のクリーンなキャンパス!誰かが快適に過ごせる環境を整えています。